



## 尼崎市立立花中学校

### 学校だより

令和5年3月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

## 太陽のまなざしのよう

校長 岡本 修一

3月に入り、令和4年度も残すところあとわずかとなりました。3年生の教室では、残り少ない中学校生活を大切にしようという気持ちが伝わってきます。1年生、2年生も、今年度の残りに時間を大切にしています。生徒たちはこの1年間で学んだこと、体験したことをしっかりと確かに後輩たちへ伝え、「立花中のたすき」を確実に「繋」いでいくことなのでしょう。まもなく3年生は、立花中学校創立以来、75回目の卒業生として巣立っていきます。卒業を控え、これからの1日1日を後輩たちのよい見本となるよう大切に過ごしていくことなのでしょう。卒業生、保護者の皆様に、心からお祝い申し上げるとともに直接・間接的に指導・助言にかかわってくださった地域、関係機関の多くの方々にも厚くお礼申し上げます。

さて、いろいろな会合の場で「つい怒ってしまうんです。もうちょっとやさしく言わないと、と思うのですが・・・」と保護者の皆さまのお悩みをよくお聞きします。いつもピタッとくるお話はできないのですが、ひとつの参考にしていただくため、イソップ童話の「北風と太陽」を思い出してみましょう。北風が太陽に自分の力を自慢すると、太陽はコートを着ている男を見て、どちらがあの男のコートを脱がすことができるのか、力比べをしないかと提案します。北風が強い風を吹かせば吹かすほど、男はコートをしっかりと握り脱がすことはできません。太陽は春の日差しのように男の体を温め、少しずつ日差しを強めていくと男は暑くなり、とうとう自分からコートを脱いだという、皆さんがよくご存知のお話です。



子どもは、一人の人間として未熟な存在です。成長していくためには大人の働きかけが必要です。しかし、この北風のように強い言葉や態度で変わっていくものなのでしょうか……。決してそんなことはないでしょう。たとえ、その場では、強く言ってきた人の話を聞いたとしても、心の中では聞いていなかったり、時に反発したりもするものです。強い風が当たれば当たるほど、その力に抵抗する心が働きます。子どもが変わろうとする時、それは自分自身で納得が言ったときでしょう。穏やかにわかりやすい言葉で話すことで、子どもはこれまでの経過を振り返り、自分の心を見つめ直すことができるでしょう。

私たち大人も同じではないでしょうか。強く言われれば言われるほど、心に壁を作り、気持ちは素直に聞くことが難しくなってしまいます。相手に対して強引に自分の思いを強いても、決して相手は振り向いてくれないでしょう。

人を動かすときは、太陽のように明るい光を相手に注ぎ込み、相手の立場に立って、どのようにしたら良いのかを話すことにより、心を揺り動かすことができるでしょう。親として、子育てで必要なまなざし、それは北風ではなく、太陽のまなざしが大切なのでしょう。晴れていた外に出て、春の太陽の光を浴びてみてください。迷い、悩み、時には自信を失ってしまいがちになる難しい子育てで、明るい陽ざしから子育てへのエネルギーを、きつともらうことができるでしょう。

### 【生徒・保護者アンケートを実施しました】

全生徒、保護者を対象にアンケートを実施しました。保護者の皆さまには、アンケートへのご理解とご回答いただきましたことにお礼申し上げます。アンケート結果の概略をお知らせします。各問いの％は、「あてはまる」もしくは「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を示しています。

生徒アンケートの結果より・・・1「学校の授業はわかりやすい」85％ 生徒にとって、おおむねわかりやすい授業が行われています。さらにわかる授業の研究を推進していきます。2「学校の授業を大切にしている」92％ ほとんどの生徒は学校の授業を大切に考え、学校での学習に取り組んでいます。3「予習や復習、宿題など家庭学習を1日平均1時間以上行っている」50％ 計画的に家庭での学習時間を確保できるようにしましょう。ご家族のご協力をお願いします。4「先生に、困ったことや悩んだことがあるとき相談することができる」61％ さらに教職員と生徒の信頼関係を強め、教育相談を充実していきます。スクールカウンセラーも活用しましょう。5「進路や将来の職業について考える機会がある」84％ 高校への進学だけでなく、将来の社会的自立をめざしたキャリア教育を推進していきます。6「教室や体育館などの学校設備は整っている」59％ 老朽化している箇所の補修や改修を進めていきます。7「地震や火災などが起こった場合どうしたらよいか知らされている」95％ 地震、火災、避難訓練の成果もあり、9割以上が防災について意識が高いようです。継続していきます。8「立花中学校の学校目標(めざす生徒像)を知っている」70％ 7割以上が学校目標を理解しています。全ての生徒たちが目標達成に向けた努力ができるようにしていきます。9「学校に行くのが楽しい」79％ 全ての生徒たちが、楽しく通いたいと思える学校づくりを目指していきます。10「適切な言葉づかいや挨拶ができる」90％ ご家庭でのしつけをしっかりとされていますので引き続き学校とも連携していきましょう。11「服装や持ち物など学校のきまりを守っている」97％ ほとんどの生徒が「ルール」をよく理解し守っています。保護者の皆様のご理解とご協力もいただいております。12「委員や教科係の役割は責任をもって行っている」95％ 学校、学級での自分の役割を自覚して責任をしっかりと果たしています。13「命の大切さや人権・社会のルールなどについて考えた行動ができる」93％ 生徒たちの人権意識の高まりがみられます。さらに人権教育を推進していきます。14「授業の最初に、先生から本時の目標が示されている」86％ さらに「わかる授業」に向けて、授業改善を推進していきます。15「授業の最後に、授業内容をふりかえるような「たしかめ」の時間があつた」62％ 授業のまとめの時間を確保できるように計画的に進めていきます。17「フォーサイト」は生活を管理したり、学習計画を立てたりするうえで使いやすい」47％ 自分の生活の予定を立て、規則正しい生活を送り、家庭学習がしっかりとできるように改善していきます。

以上、生徒アンケートでは、肯定的な回答が比較的高くなっています。課題につきましては改善に向けて検討してまいります。学校では挨拶がよくでき、ルールを守り、落ち着いた環境で授業に取り組んでいます。教育相談、避難訓練の成果も現れています。



保護者アンケートの結果・・・1「学校は学校教育目標や重点取り組み項目を分かりやすく伝えている」63％ 2「学校通信「立花だより」など学校からの連絡等は、適正な内容である」82％ 3「学校のホームページを見ることがある」43％ 4「学校は家庭への連絡などを積極的に行っている」59％ 5「学校には、保護者の要望や相談に向かい合う姿勢がある」59％ 6「学校は新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでいる」89％ 7「学校は生徒の言葉づかいや挨拶などを適切に指導している」77％ 8「学校は生徒の相談によく応じている」65％ 9「学校はいじめや校内暴力のない学校づくりに取り組んでいる」55％ 10「学校から進路について十分な情報提供を受けている」62％ 11「学校は避難訓練などを通して防災教育を進めている」90％ 12「学校は生徒に命の大切さや人権・社会のルールなどについて考えた行動をするよう適切に指導している」69％ 13「学校は様々な場面でデジタル機器を活用しようとしている」66％ 14「お父さんは自宅や塾など学校外で、毎日学習する習慣がある」62％ 15「お父さんの家庭学習における課題や学習計画を知っている」69％ 16「お父さんは地域の行事に積極的に参加している」25％ 17「ご家庭でお父さんと進路について話し合うことがある」90％ 18「お父さんは楽しく通学している」85％ 19「通学路は安全である」82％ でした。

皆様のご家庭の教育力が高く、小学生のときから意欲的に学ぶお子さんが多いため、中学校入学後も順調に教育活動を進めることができます。けれども課題も多くあります。特に親や大人の要求に応えようと、失敗をしないようにし、新しいことや苦手なことに挑戦する意欲には課題があるようです。また、友だちに嫌われたくないという思いが強く、相手との対立をさける傾向にあります。これからの時代や社会の中で力強く生き抜いていくために失敗を恐れず、新しいことに挑戦し、友だちとの対立を恐れず意見を交わし合いながら、お互いを認め合い、力強く生きて欲しいと願います。新しいことへ挑戦し、失敗してもその失敗の中から多くを学び、友だちとの対立から人間関係についても深く学び、力強い生き方をしてもらいたいです。

学校では、生徒たちがお互いの挑戦や失敗を認め合い学ぶことを求めています。地域、保護者の皆さまには、お子様の失敗や子ども同士の対立をしっかりと見守り、励まし、子どもたちが自ら解決し、乗り越えていくようなご支援をお願いいたします。